

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレット

ソフトウェア（アプリ）

各スマートフォンに入っている、スローモーション機能があるカメラアプリ



それをどう使う（それで何ができる）

- ・生徒が持っているスマートフォンに入っているカメラアプリでスローモーション撮影をすることが可能。
- ・運動の実験の様子を撮影し、その動画を解析する。
- ・撮影した動画を共有する。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 物理基礎「物体の落下実験」

【 Before 】

- 物体を落下させた際の速度変化を、記録タイマーを用いて計測する。

【 After 】 **メリット**

- スローモーション動画を撮影し、それを用いて解析などを行うことで、生徒が映像を見ながら考察をすることができる。
- 正確なデータを得ることができるため、物体の落下速度について別の角度からの実験方法を、生徒自らが考えることも可能になるなど、実験方法の選択肢が広がる。
- 教員が行った実験データを共有するなど、生徒が実験を行わなくても映像教材から解析する授業を行うことができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	△				○		○
	グループに1台								
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	理科・物理基礎			
		○	○		活用が想定される場面	生徒実験			